

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	7,141,441
	決算	
	事業費 (A)	7,052,241
	人件費 (B)	89,200
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
企業債残高	億円	246	目標	213
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○		5,387,985	5,298,785	12.0		2.0		
2	浜松市水道事業(資本的支出)		○		1,753,456	1,753,456					
計					7,141,441	7,052,241	12.0	0.0	2.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・部内及び他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年度	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法		○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	5,298,785
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	5,213,488
	一般会計繰入金	85,297
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		89,200
人工	正規	12.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	2.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
企業債残高(億円)		213			246
職員定数(人)		164			146
防災訓練(研修)の実施回数(回)		15			15
啓発事業の開催回数(回)		1			1

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

水道事業における企業債残高の増加を抑制し、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

- 行政経営計画 取組番号 2005
 取組事項名 水道事業における企業債残高の削減
- 個別計画等 計画名等 水道事業中期財政計画

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
建設事業費(億円)	計画値	42.8	46.4	56.6	51.7	40.0
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年度	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,753,456
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	1,698,868
	一般会計繰入金	54,588
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	
人工	正規	
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
企業債残高(億円)		213			246

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	91,374
	決算	
	事業費 (A)	91,374
	人件費 (B)	
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	水道事業会計負担金				91,374	91,374					
計					91,374	91,374	0.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	91,374
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	91,374
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	
人工	正規	
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	81,680
	決算	
	事業費 (A)	80
	人件費 (B)	81,600
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○		81,680	80	10.0	1.0	2.0	1.0	
計					81,680	80	10.0	1.0	2.0	1.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

適正な給水装置工事のため指定工事事業者に対する技術的指導及び水道使用に関する監督・指導を行う。

◇事業の概要

○給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業

・指定事業者を対象とした技術講習会の実施

○給水装置工事の相談・受付・検査業務

・給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年度	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	80
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	80
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		81,600
人工	正規	10.0
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	2.0
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
指定工事事業者の違反行為 (件)		0		0	0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る
より高度なICTを取り入れ、検針業務や料金等徴収業務を省力的かつ一体的に管理する
水道事業の経営を支える水道料金収入の確保(翌年5月末時点の収納率を指標とする)

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	297,248
	決算	
	事業費 (A)	241,448
	人件費 (B)	55,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
収納率	%	99.67	目標	99.65
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)	○	○		297,248	241,448	7.6		1.0		
計					297,248	241,448	7.6	0.0	1.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る
より高度なICTを取り入れ、検針業務や料金等徴収業務を省力的かつ一体的に管理する
水道事業の経営を支える水道料金収入の確保

◇事業の概要

【重点戦略項目No.101】

料金収入の安定確保：新たに滞納に回る分を減らし、滞納分の早期解決を図り、収入の安定確保を目指す
委託業務の包括化：包括委託することで、業務の効率化や経費の削減を図る
次世代検針システムの研究：より安全で軽量、高機能、低コストな検針システムの導入を目指す

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年	-	事業会計	自治事務	水道法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	241,448
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	241,448
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	55,800
人工	正規	7.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
収納率	101	99.65		99.65	99.67

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

料金収入の安定確保を目指し、滞納分の早期解決を図るとともに、新たに滞納に回る分を減らす努力をする。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

- 行政経営計画 取組番号 _____
取組事項名 _____
- 個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
収納率 (%)	計画値	99.65	99.65	99.65	99.65	(H36)99.67
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。
- ・水道事業を取り巻く環境変化への対応のため、新たな水道事業基本計画を策定。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	3,555,953
	決算	
	事業費 (A)	3,201,553
	人件費 (B)	354,400
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
浜松地区基幹管路耐震適合率	%	100	目標	56.8
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○		629,366	442,966	23.0	2.0	7.0		
2	浜松市水道事業(資本的支出)		○		2,926,587	2,758,587	24.0				
計					3,555,953	3,201,553	47.0	2.0	7.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ
事業対象 水道配水管および付属施設

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配給水管維持管理事業 水道地理情報管理システム整備事業 消火栓維持管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	442,966
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	442,966
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		186,400
人工	正規	23.0
	再任用(h31)	2.0
	再任用(h26)	7.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
水管橋防蝕事業 (対象25橋) (%)		76.0			100.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

--

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新 事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設事業 消火栓設置事業(拡張費) 老朽管等更新事業 管路耐震化事業 消火栓設置事業(改良費) (仮)新水道事業基本計画(H27～H56)策定

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	2,758,587
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	2,758,587
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		168,000
人工	正規	24.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
浜松地区基幹管路耐震適合率 (%)		56.8			100.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

--

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	3,363,959
	決算	
	事業費 (A)	3,227,559
	人件費 (B)	136,400
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
水質基準超過件数	件	0	目標	0
			実績	
水需要に対する水源確保率 (取水能力/配水量)	%	150	目標	150
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○		3,363,959	3,227,559	18.0		4.0		
計					3,363,959	3,227,559	18.0	0.0	4.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、その結果を公表し安全な水道水のPRを行う。また、水道水源の流域の化学物質等を排出する事業所の把握等水源水質の監視を行う。必要な水量確保のため、県企業局からの受水、三方原用水や井戸の維持管理を行う。取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務を行う。

◇事業の概要

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談 ・簡易水道及び洗管水の水質検査
- 水源水質保全
 - ・水源水域の土地利用調査及び水質状況調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・浄水汚泥処理(汚泥脱水機運転・点検及び天日乾燥床の管理)
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	3,227,559
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	3,227,559
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		136,400
人工	正規	18.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	4.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
水質検査項目数(件)		63		63	63
原水水質検査回数(回/年)		4		4	4
取水能力 (m ³ /日)		294,363		294,363	294,363
配水量 (m ³ /日)		192,726		192,726	192,726

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,831,640
	決算	
	事業費 (A)	1,623,840
	人件費 (B)	207,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
北部管内基幹管路耐震化適合率	%	100	目標	63.5
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○		520,637	347,837	22.0	3.0	2.0	1.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)		○		1,311,003	1,276,003	5.0	0.0	0.0	0.0	
計					1,831,640	1,623,840	27.0	3.0	2.0	1.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的
 適正な水道供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ。
 事業対象
 水道配水管および付属施設。

◇事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・水道事業広報事業
- ・災害対応の強化

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	347,837
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	347,837
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		172,800
人工	正規	22.0
	再任用(h31)	3.0
	再任用(h26)	2.0
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
市民からの苦情(件数)		290			270

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的
 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
 事業対象
 上水道施設および管路

◇事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・施設整備事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・施設改良事業費
- ・施設耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・安定供給システムの構築

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,276,003
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	1,276,003
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		35,000
人工	正規	5.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
北部管内基幹管路耐震化適合率(%)		63.5			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	442,204
	決算	
	事業費 (A)	378,504
	人件費 (B)	63,700
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
配水管布設事業〔船明土地区画整理区域内〕	%	100	目標	44.3
			実績	
管路耐震化事業〔基幹管路・配水幹線〕	%	100	目標	66.7
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○		119,441	69,741	6.0	1.0	0.5	1.0	
2	浜松市水道事業(資本的支出)		○		322,763	308,763	2.0				
計					442,204	378,504	8.0	1.0	0.5	1.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、水道施設および管路を正常な状態に保つ 事業対象 水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 施設管理事業 配給水管維持管理事業 消火栓維持管理事業 配水給水管切替事業
--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年度	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	69,741
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	69,741
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		49,700
人工	正規	6.0
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	0.5
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

--

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設事業 消火栓設置事業(拡張費) 老朽管等更新事業 管路耐震化事業 消火栓設置事業(拡張費) 施設改良事業 施設耐震化事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和4年度	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	308,763
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	308,763
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		14,000
人工	正規	2.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
配水管布設事業[船明土地区画整理区域内] (%)		44.3			100
管路耐震化事業[基幹管路・配水幹線] (%)		66.7			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

--

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 飲料水供給施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- (1) 湧水や濁水に対応した取水施設や浄水施設の整備に努め、自然環境変化の影響を最小限に抑えるとともに、水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を目指します。
- (2) 小規模水道に特化した施設整備手法の検討を行い、効果的かつ計画的な施設の更新により、いつでも安定した飲料水の供給を目指します。
- (3) 水道施設の必要な知識・技術の継承に努め地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理を推進し地域とともにつくる水道の持続を目指します。
- (4) 大規模地震や台風など災害時でも飲料水が確保できる体制づくりを目指します。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	114,951
	決算	
	事業費 (A)	86,951
	人件費 (B)	28,000
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
水質検査受検率	%	100	目標	95
			実績	
水質適合率	%	100	目標	95
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	飲料水供給施設等維持管理事業				23,554	16,554	1.0				
2	飲料水供給施設等整備事業				77,320	63,320	2.0				
3	飲料水供給施設等管理助成事業(補助金)				14,077	7,077	1.0				
計					114,951	86,951	4.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等維持管理事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設及び公設民営簡易水道施設の修繕を行い、生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

飲料水供給施設等の修繕のほか、事業活動全般に関する庶務事務等を行う。
 (公設飲料水供給施設158施設、公設民営簡易水道施設4施設)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	16,554
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	689
	一般財源	15,865
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	7,000
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等整備事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設及び公設民営簡易水道施設の浄水施設整備、取水施設整備及び老朽管更新などの施設整備を行い、安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業
- (2) 水源施設整備事業
- (3) 統合適正化整備事業
- (4) 老朽管更新などの施設更新整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	63,320
	決算	
	国・県支出	
	市債	53,100
	その他	3,852
	一般財源	6,368
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	14,000
人工	正規	2.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
消毒設備設置率(%)		88			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

消毒設備 H26.3.31 整備済137/165 = 83% 【27年度】2施設 139/158 = 88%
 【30年度】以降3施設/年 × 3年 = 148/158 = 93%

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等管理助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設及び公設民営簡易水道施設の水質検査及び維持管理委託費用の一部を助成し、適正な維持管理を促進して安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1) 水質検査に対する助成
- (2) 維持管理の委託費用に対する助成

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	7,077
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	3,500
	一般財源	3,577
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		7,000
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
水質検査受検率(%)		95			100
水質適合率(%)		85			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

【水質受検率】 H26:93.4%
 【水質適合率】 H26:81%

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 小規模水道施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	11,713
	決算	
	事業費 (A)	9,913
	人件費 (B)	1,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	生活用水応援事業				11,713	9,913		0.5			
計					11,713	9,913	0.0	0.5	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生活用水応援事業

◇事業目的・事業対象

特定未普及地域の生活水の確保を支援し、市民がいつでも安心して生活できるように努める。

◇事業の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成21年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	9,913
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	907
	一般財源	9,006
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	1,800
人工	正規	
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 簡易水道事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

安全で良質な水道水を安定供給するために、簡易水道施設の施設整備や維持管理、水道法に基づく水質検査及び簡易水道事業全般に関連する管理運営事業を行なう。
【対象事業数】 32簡易水道事業

◇政策のコスト（千円）

◇政策のコスト（千円）		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,139,800
	決算	
	事業費 (A)	1,052,000
	人件費 (B)	87,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	やります	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	簡易水道事業				1,139,800	1,052,000	11.0	3.0			
計					1,139,800	1,052,000	11.0	3.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 簡易水道事業

◇事業目的・事業対象

市民がいつでも安心して利用できる信頼される水道水の供給を進めるとともに、簡易水道事業の経営健全化を推進する。
 対象事業数 32簡易水道事業

◇事業の概要

安全で良質な水道水を安定供給するために、簡易水道施設の施設整備や維持管理、水道法に基づく水質検査及び簡易水道事業全般に関連する管理運営事業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	やります!リスト	主要事業
平成17年度	平成28年度	特別会計	自治事務(その他)	水道法	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,052,000
	決算	
	国・県支出	83,255
	市債	350,200
	その他	6,665
	一般財源	192,113
	一般会計繰入金	419,767
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		87,800
人工	正規	11.0
	再任用(h31)	3.0
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	やります! No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み